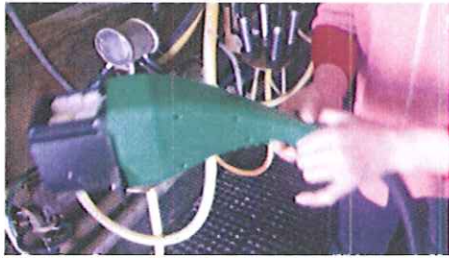


乳頭洗浄機

別海町のN農場さんで3週間ほど稼働している乳頭洗浄機の使用風景を見学させていただきました。

「乳頭洗浄機」というマシンはこんなもの



機能は洗浄と乾燥。

洗浄：洗浄液ブラシを各乳頭2秒ずつ

乾燥：乾風ブラシを各乳頭2秒ずつ

単純に4つの乳頭を洗浄で1周、乾燥に切り替え1周と、計2周して洗浄と乾燥が片手ですませられるスムーズさに感動しました。



速くて本当に洗浄、乾燥できているのかと疑いたくなりますが、目視ではバッチリ仕事してます！

(ちょっと暗くて見にくいですが。。。)

よっぽど汚れた乳頭は洗いきれないこともあるようで、前搾りの時に確認し、大まかな汚れはタオルで落としてから洗浄機を使うことで対処していました。しかしそれほどの汚れは少ないそうです。



心配な乳房炎について、使い始めてから乳房炎が出たようですが、原因ははっきりしていないようです。乳頭が傷むなどは基本的にはないようですが、消耗品であるブラシが傷んだ状態で使い続けると乳頭も傷んでしまうようです。

◆ 搾乳スタッフが感じる現時点でのメリット・デメリット（主観です）



<メリット>

- ・片手で乳頭洗浄・乾燥が完了する。
- ・パーラー内での人の動線が短くなった。
- ・汚れの落とし具合や乾燥が、誰がやっても均一になった。
- ・マッサージ効果なのか、乳の出し切りが良く、ミルカーの2度かけが減った（かなり主観的）。

<デメリット>

- ・慣れるまで嫌がる牛はいるので、最初は牛がバタつく。
- ・洗浄機が少し重く、女性では腕が疲れる。
- ・洗浄液が透明で泡がなく、どれだけ洗えているのかやや不安。

効率化については乳頭洗浄機の導入 3 週間時点で、350 頭ほどの搾乳時間が 20・30 分ほど短縮された感覚だそうです。時間についてそれ以上に有益と感じたのは、大量の乳頭用タオルの洗濯と折畳みに使っていた時間を他の仕事にあてられるということ。細かいところですが、日々の雑務が一つ減るだけでもスタッフのストレスは大きく軽減されるのではないかと思います。

導入した理由は、今後の規模拡大を見越した業務の効率化と、搾乳者が替わっても搾乳衛生を均一に保てるということ。さらに道内でも使用例がそれなりに増え、輸入の代理店が現れたことが、導入の決め手となったそうです。

導入の手応えについて、まだ良いとも悪いともコメントは難しいということでした。導入コストに加え、メンテナンス、洗浄液やブラシなどの消耗品といったランニングコストを踏まえ、判断にはまだ時間がかかりそうです。

すでに導入した農家の声も賛否両論あるようで、この農場に適したシステムであったのかどうか、もう少し追ってみたいと思います。

見学させて頂いた N 農場さん、ありがとうございました。



いっきに黒い土から、緑の牧草地と模様替えされ、気分もすっかり春になりました。鹿との交通事故や畑での事故に気を付けつつ、暖かな季節を満喫しましょう♪

BBQ にはぜひお誘いください！！

てらうち